

光学・精密機器

板橋区の地場産業として、代表的な存在の一つといえるのが光学機器です。戦前から軍需を中心とした光学機器製造工場があり、戦後はそれらの工場の技術者たちが区内に双眼鏡などの製造工場を立ち上げました。昭和37年・38年には、日本の主な精密機器の輸出額の70%を板橋区から出荷するほどでした。また、光学の技術を活用した測定器や検査機器のメーカーなど、多彩な精密機器メーカーが数多く活躍しています。光学・精密機器メーカーは、その優れた技術力を活かした医療機器や健康機器への進出も目覚ましく、一層の活躍が期待されています。



化学

明治9年に加賀に陸軍の工場が建設され、火薬を製造したのが、板橋区の近代工業の発祥でした。戦後は染料、インキや薬品などの化学工場が操業し、化学工業は板橋区の代表的な業種の一つとなりました。現在では製造部門よりも研究・開発が中心ですが、都内有数の化学工業の拠点であることに変わりはありません。



食品工業

板橋区の意外な顔といえるのが食品工業です。レトルト食品やスナック菓子、香辛料、食品材料、飼料などを製造しています。近年では健康食品に力を入れたり、バイオテクノロジー分野に進出するなど、意欲的な企業が活躍しています。

印刷関連産業

印刷・製版・製本などの印刷関連産業は、板橋区最大の地場産業であり、全国市区町村第一位の製造品出荷額を誇っています(平成15年工業統計調査)。板橋区にはもともと凸版印刷板橋工場を中心とした集積があったこと、志村地区を中心に古くから豊富な工業系用地があったこと、都心との交通の便が良いことなど、都市型工業である印刷関連の工場立地には最適でした。

印刷関連産業は、多様なメディアへの印刷や、印刷関連技術を活かしたコンテンツ制作やエレクトロニクス部門など、さまざまな新分野への進出が期待されています。



多様な業種

板橋区の製造業の特徴のひとつとして、その業種の多彩さを挙げることができます。一般機械や電気機械などの機械工業から、鉄鋼、金属製品、プラスチック製品、紙製品など、多種多様にわたる企業が数多く活動し、それぞれが独自の技術を持ち、日本のものづくりをしっかりと支えています。

